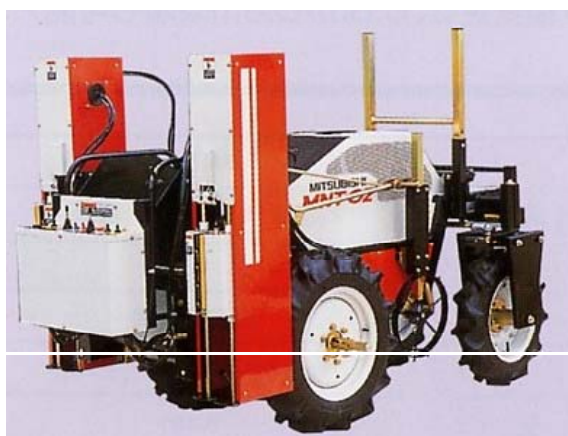


大型トンネル支柱打ち込み機

本県の春夏ニンジン栽培にはミニパイプハウスという間口3m、高さ1.5mの大型トンネルを利用しているが、この大型トンネルの支柱打ち込み作業は高齢者や女性にとって大変な労働負担となっている。そこで、これに対応する大型トンネル支柱打ち込み機を三菱農機(株)・(株)ニシザワとの共同研究により開発した。

開発機の概要

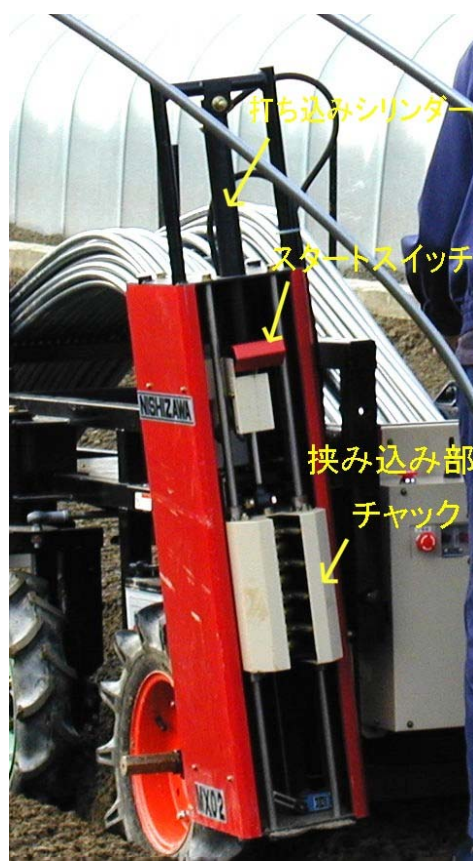
- 1 支柱を200本搭載し、播種した畦の間を走行し支柱を打ち込むことができる。
- 2 左右両側または左右どちらか一方の打ち込みができる。
- 3 作業者が支柱打ち込み部に支柱をセットすると自動で支柱を挟み込み、油圧により打ち込む。打ち込み深さは20～30cmの間で任意に設定できる。
- 4 支柱打ち込み間隔は1mで、機体中央部のゲージ輪により制御される。
- 5 作業能率は10アール当たり約90分で、慣行作業の約2倍である。



開発した大型トンネル支柱打ち込み機



本機の作業状況



支柱打ち込み部

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所 栽培システム担当

TEL (088) 674-1660

FAX (088) 674-3114

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>